

## コンビネーション

### ●650シリーズコンビネーション



### ●750シリーズコンビネーション



### ●900シリーズコンビネーション



## フィルタ・ミストフィルタ



## モジュール

ブラケット兼用Dモジュール



Rモジュール



### ●オプション

- ノン・イオン仕様
- ボウル仕様  
ナイロンボウル
- ドレンコック仕様  
継手付ドレンコック  
オートドレン式ドレンコック

## レギュレータ



RN650  
RN651  
RN652



RN900  
RN902

### ●オプション

スイッチ内蔵圧力計



圧力計



低圧用圧力計



埋込形圧力計

## モジュール

ブラケット兼用Dモジュール



Rモジュール



## ルブリケータ



LN650  
LN651



LN900  
LN901  
LN902

### ●オプション

- ノン・イオン仕様
- ルブリケータ仕様
  - マイクロルブリケータ
  - マシナルルブリケータ
- ボウル仕様
  - ナイロンボウル
- ドレンコック仕様
  - 継手付ドレンコック
  - スクリュー式ドレンコック

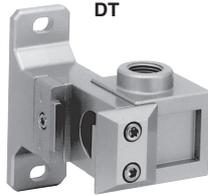
## モジュールできる機器の一覧

ボディサイズ		650シリーズ						900シリーズ										
形式		FN650	RN650	RN651	RN652	LN650	LN651	FN900	FN901	RN900	RN902	LN900	LN901	LN902	MF800	MF1000	MMF600	MMF800
650シリーズ	FN650	8-65F	8-90ND					8-65F	8-90ND					8-65F	8-90ND			
	RN650	8-65ND	8-90DT					8-65ND	8-90DT					8-65T	8-90DT			
	RN651	8-65T	8-90DS					8-65T	8-90DS					8-65S	8-90DS			
	RN652	8-65DT						8-65DT	8-90R <sup>注</sup>									
	LN650	8-65S						8-65S	8-90M <sup>注</sup>									
	LN651	8-65DS						8-65DS										
900シリーズ	FN900																	
	FN901	8-65F	8-90ND					8-65F	8-90ND					8-65F	8-90ND			
	RN900	8-65ND	8-90DT					8-65ND	8-90DT					8-65T	8-90DT			
	RN902	8-65T	8-90DS					8-65T	8-90DS					8-65S	8-90DS			
	LN900	8-65DT	8-90R <sup>注</sup>					8-65DT	8-90R <sup>注</sup>						8-90R <sup>注</sup>			
	LN901	8-65S	8-90M <sup>注</sup>					8-65S	8-90M <sup>注</sup>						8-90M <sup>注</sup>			
	LN902	8-65DS						8-65DS										
	MF800																	
	MF1000	8-65F	8-90ND					8-90ND	8-90R <sup>注</sup>					8-65F	8-90ND			
	MMF600	8-65T	8-90R <sup>注</sup>					8-90DT	8-90M <sup>注</sup>					8-65T	8-90DT			
	MMF800	8-65S	8-90M <sup>注</sup>					8-90DS						8-65S	8-90DS			

注：RN900,902専用です。RN900,902との接続には8-90R,8-90M以外は使用できません。またRN900,RN902以外の機器どうしの接続には使用できません。

## モジュール・アダプタの形式一覧

650,900シリーズ用

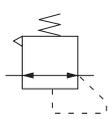
モジュール・アダプタ	Fモジュール	Dモジュール	Tモジュール	
	 (モジュール専用)	 (ブラケット兼用)	 (分岐配管)	 (ブラケット兼用分岐配管)
ボディサイズ				
65 (600シリーズ)	8-65F	8-65ND	8-65T	8-65DT
90 (900シリーズ)		8-90ND		8-90DT
モジュール・アダプタ	Rモジュール	Mモジュール	Sアダプタ	
	 (レギュレータ専用)	 (レギュレータ専用配管支持形)	 (配管接続)	 (ブラケット兼用配管接続)
ボディサイズ				
65 (600シリーズ)	—	—	8-65S	8-65DS
90 (900シリーズ)	8-90R	8-90M		8-90DS

# レギュレータ

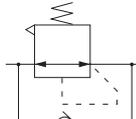
RN650・RN651・RN652・RN900・RN902



## 表示記号



- 標準仕様
- 低圧仕様



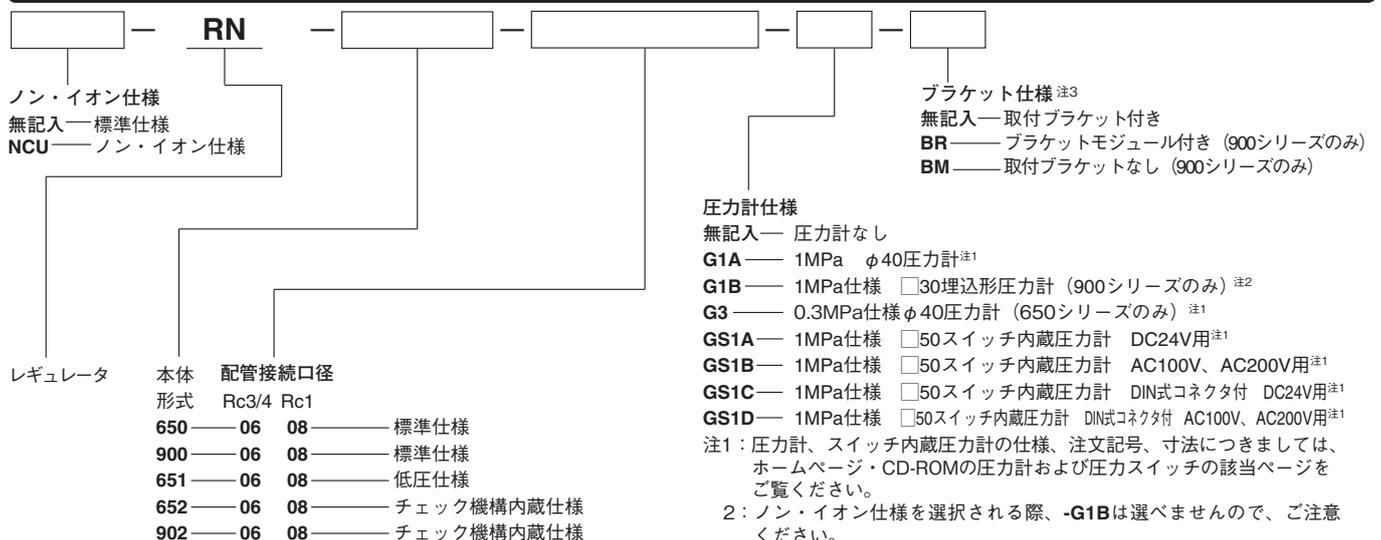
- チェック弁内蔵仕様

## 仕様

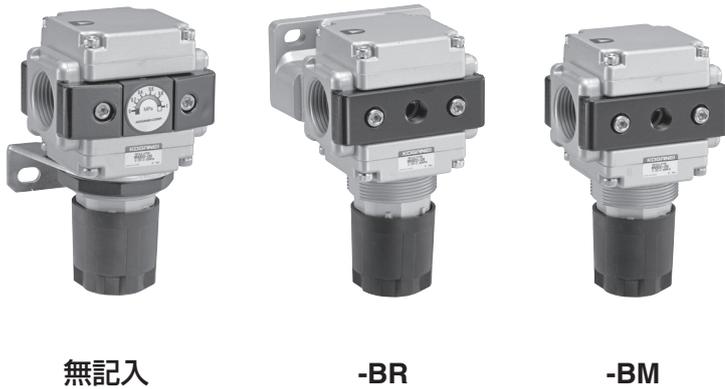
項目	シリーズ タイプ 形式	650シリーズ			900シリーズ	
		標準 RN650	低圧用 RN651	チェック機構内蔵 RN652	標準 RN900	チェック機構内蔵 RN902
使用流体		空気または非腐食性流体				
配管接続口径	Rc	3/4、1				
圧力設定範囲	MPa	0.05~0.83	0.05~0.25	0.05~0.83		
最高使用圧力	MPa	0.97				
保証耐圧力	MPa	1.47				
使用温度範囲	℃	5~60				
圧力計接続口径	Rc	1/4 (2ヶ所)				
構造		リリーフタイプ				
最大処理流量注	ℓ /min (ANR)	2500	1500	2500	8000	
給油		不要				
質量	kg	0.53			1.26	
材質	本体	アルミダイカスト				
	ボンネット	ポリアセタール			アルミダイカスト	
	ハンドル	ABS			PBT	
	ダイヤフラム	布入り合成ゴム				
標準装備品	ブラケット	標準付属品				
	取付リング	標準付属品				
埋込形 圧力計	圧力表示範囲	MPa 1				
	最高使用圧力	MPa 0.95				
	使用温度範囲	℃ 5~60				
材質	ブルドン管	黄銅管				
	カバー(ケース)	PPS				
センサ内蔵 デジタル 圧力計	定格圧力範囲	MPa 0~1.000				
	設定圧力範囲	MPa 0~1.000				
	材質	ケース ABS樹脂				

注：空気圧力1次側0.69MPa時、2次側設定圧力0.5MPa時の最大処理流量。

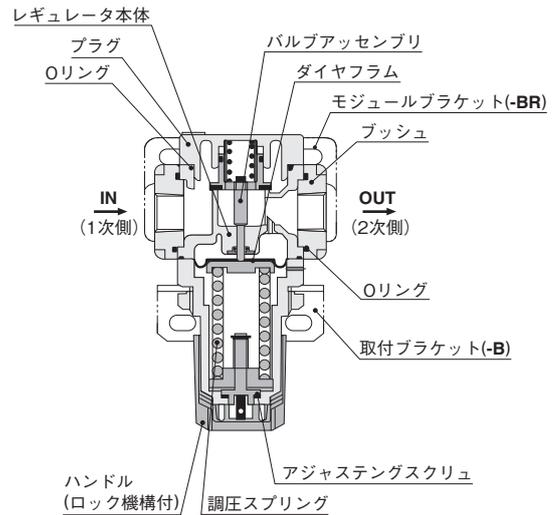
## 注文記号



## ブラケット仕様



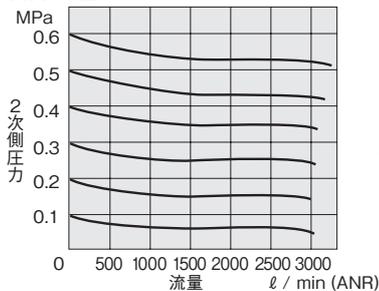
## 内部構造



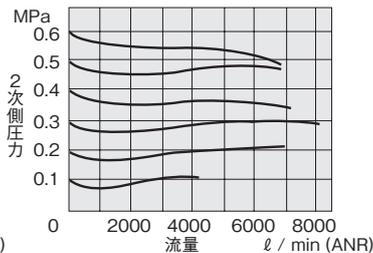
## 流量特性

### ●標準・チェック機構内蔵

RN650  
RN652

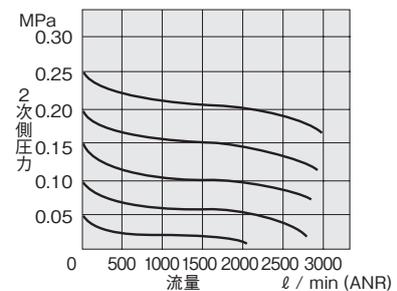


RN900  
RN902



### ●低圧用

RN651

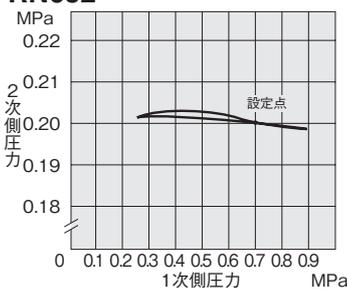


## 圧力特性

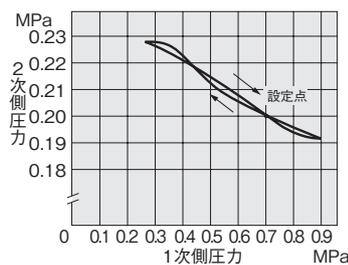
備考：グラフは1次側圧力が0.7MPa一定時の流量特性です。

### ●標準・チェック機構内蔵

RN650  
RN652

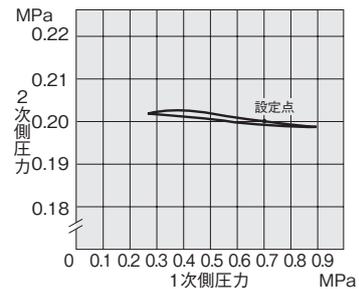


RN900  
RN902



### ●低圧用

RN651

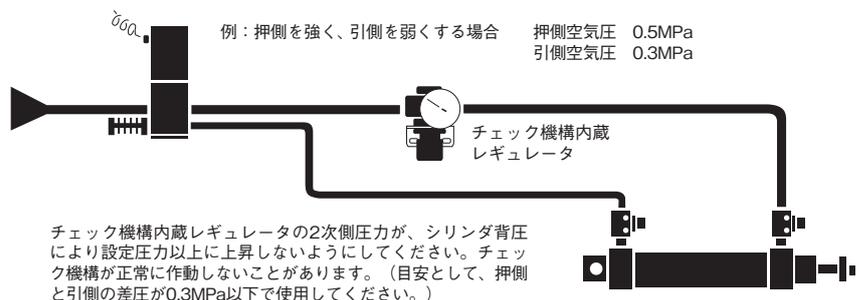


## チェック機構内蔵レギュレータによるシステムアップ

チェック機構内蔵レギュレータは、1次圧がなくなったときに、内蔵されたチェック弁が開いて圧力のバランスが崩れ、主弁を瞬時に開き2次圧を1次側に逃がします。

### 押側、引側の推力変換

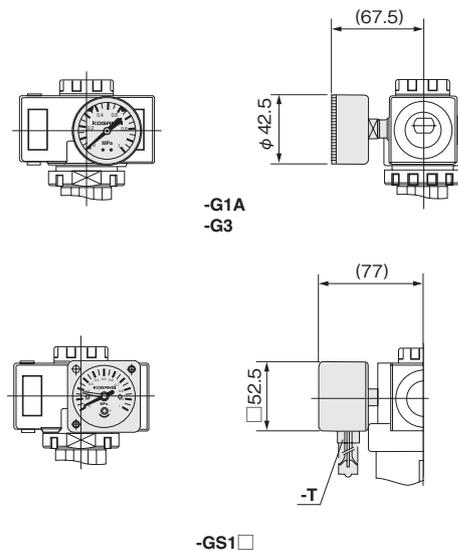
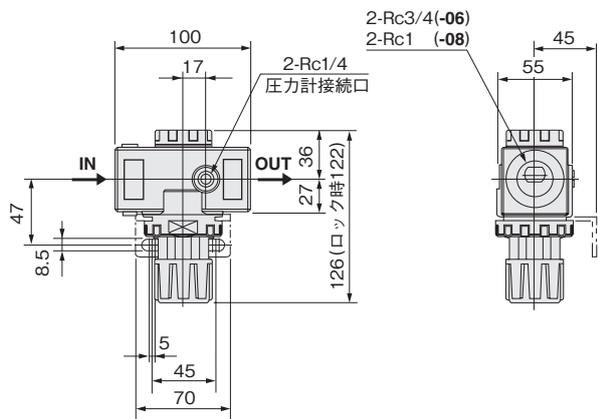
エアシリンダの押側、引側の推力が容易に変えられます。推力を必要としない側を低圧で作動させることにより、空気消費量も削減できます。



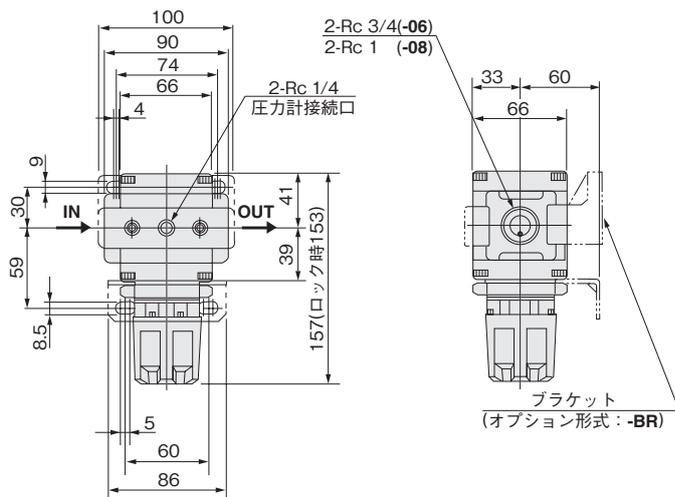
# レギュレータ寸法図 (mm)

- RN650
- RN651
- RN652

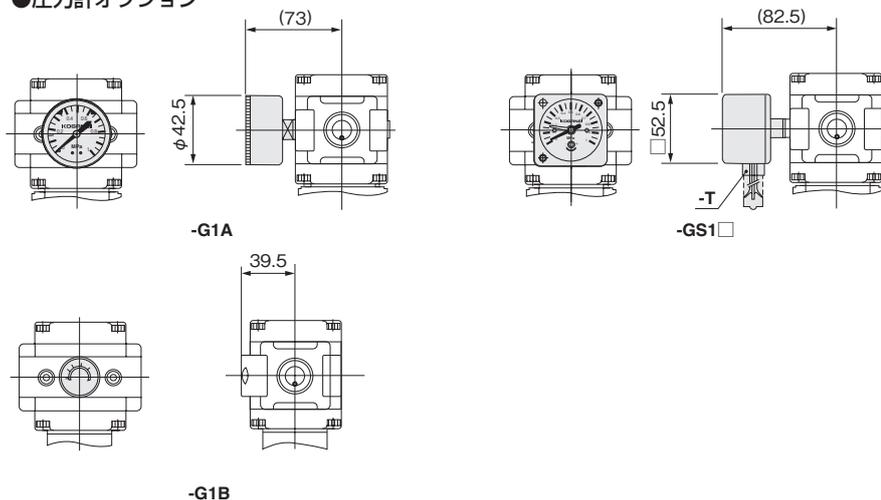
## ● 圧力計オプション



- RN900
- RN902



## ● 圧力計オプション



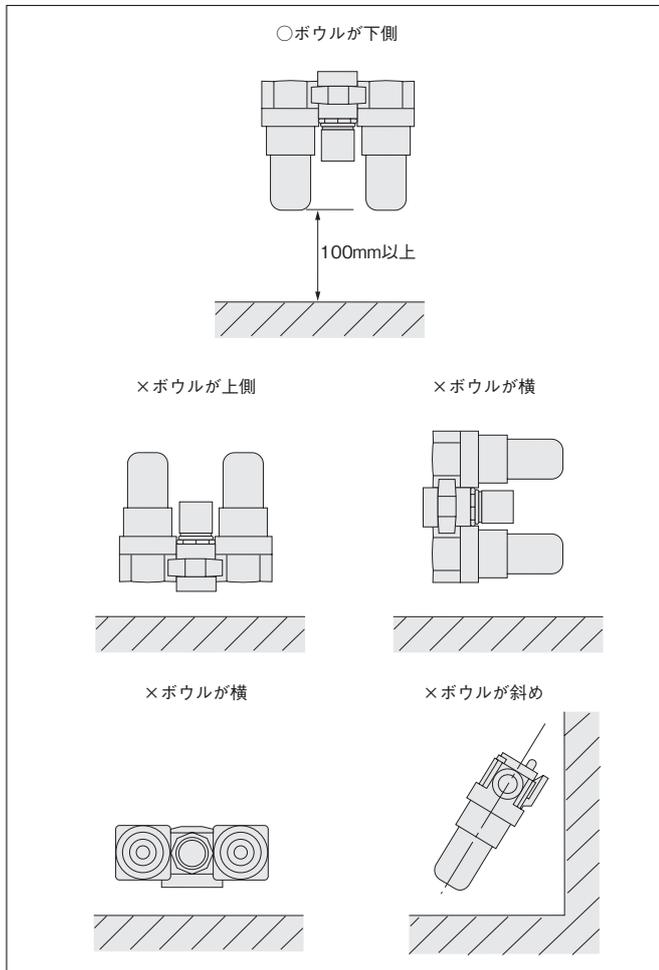


## 一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング(圧縮空気の吹き流し)を十分に行なってください。配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。
2. 使用流体は清浄空気(5 $\mu$ m以下のフィルタを使用の事)を使用し、それ以外の流体の場合は、最寄りの弊社営業所へご相談ください。
3. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。  
有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・酸類・アルカリ類。(フィルタ、ルブリケータのボウルおよびルブリケータのオイル滴下窓の材質はポリカーボネートおよびナイロンです。  
総合パーソナルカタログ前付の「ポリカーボネート・ナイロンの耐薬品性について」もご覧ください。)
4. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するとき、カバーなどで保護してください。
5. 周囲温度が5~60 $^{\circ}$ Cの場所に設置してください。
6. 9.8m/s<sup>2</sup>以上の振動のある場所に設置するのは、避けてください。

## 据付方法

配管接続部を上、ボウルを下にして、垂直に取り付けてください。(レギュレータ単体で使用するときは、取付姿勢は自由です。)  
また、ドレンの排出やフィルタエレメントの交換などが容易にできるようボウルの下側にはスペースをとってください。



- 注：1.取り付けのとき、本体には加工を施さないでください。機能が損なわれることがあります。
- 2.使用流体は空気を使用してください。
  - 3.使用圧力は最高0.97MPaを超えないようにしてください。
  - 4.水、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するとき、カバーなどで保護してください。



## レギュレータ

### 取付・配管

レギュレータ(チェック機構内蔵のものを除く)は機構上INポート(1次)側の圧力が0MPaになっても、OUTポート(2次)側の圧力をINポート側に排気しない場合があります。確実に排気する場合はチェック機構内蔵のものを使用するか、チェック弁を併設してください。

電磁弁の後にチェック機構内蔵レギュレータを取付け、シリンダの圧力調節に使用する場合、チェック機構内蔵レギュレータの2次側圧力が、シリンダ背圧により設定圧力以上に上昇しないようにしてください。チェック機構が正常に作動しないことがあります。(目安として、押側と引側の差圧が0.3MPa以下で使用してください。)

### 調圧

調圧はハンドルを確実に引き出した状態で行ない、右回転(時計回り)させると増圧し、左回転(反時計回り)させると減圧します。調圧後は、ハンドルを本体側に押し込んでロックします。



1. ハンドルをロックした状態では回さないでください。
2. 設定は、1次側圧力および2次側の圧力計の表示を確認しながら行ってください。必要以上にハンドルを回し過ぎますと、内部部品の破損の原因になります。回し過ぎにご注意ください。
3. レギュレータは使用条件等により・ウナリ(振動)音が発生する事があります。対策につきましては最寄りの弊社営業所へご相談ください。

# 取扱い要領と注意事項



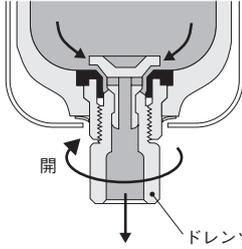
エアフィルタ・ルブリケータ

## ドレンコック

### ●スクリー式

(エアフィルタ 標準装備  
ルブリケータ 注文記号:-D)

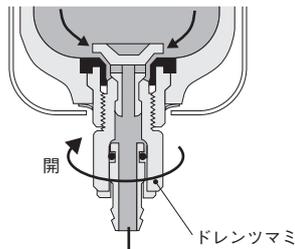
ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。



### ●継手付

(エアフィルタ 注文記号:-F1  
ルブリケータ 注文記号:-F2)

ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。

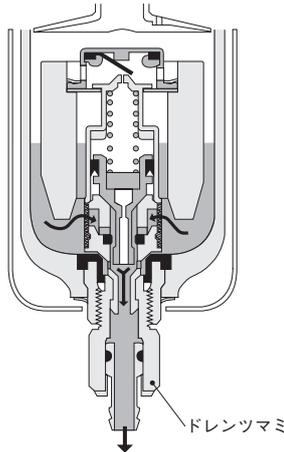


☀ ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。  
また、ねじの終端で強く締めるとドレンツマミが固着する場合があります。強く締めないでください。

### ●オートドレン式

(エアフィルタ 注文番号:-A)

一定量のドレンが溜まったり、ボウル内の圧力が0.02MPa以下になると自動排出されます。また、ドレンツマミを左に回せば、手動でも排出できます。



1. オートドレンは、供給圧力が0.15MPaに上昇するまでは、ドレン排出口より、エアが排気されますが異常ではありません。この時ドレンツマミを回転させてもエアは止まりません。

(供給圧力が0.15MPaまで立ち上がるのに時間がかかるような場合は、最寄りの弊社営業所へご相談ください。)

2. ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。
3. 継手部にチューブを配管するときは、内径6mmのナイロンチューブを使用してください。また、チューブは継手の直後で曲げないようにしてください。
4. 継手部は自由に旋回しますから、手動でドレンを排出するときでも、チューブを外す必要はありません。

圧力計を交換される場合は、下記の表を参照してご注文ください。

形式	オプション形式	別売形式	モジュール別売形式
650 750	G1A	G1-40	—
	GS1A	GS1-50-DL	
	GS1B	GS1-50-AL	
	GS1C	GS1-50-DL-T	
900	GS1D	GS1-50-AL-T	8-90M (ボルト付)
	G1A	G1-40	
	GS1A	GS1-50-DL	
	GS1B	GS1-50-AL	
	GS1C	GS1-50-DL-T	
	GS1D	GS1-50-AL-T	

備考: G1A⇄GS1□とを交換される場合は、モジュール(8-90M)は必要ありません。

## 給油

1. ルブリケータには、タービン油1種(ISO VG32)相当品を使用してください。スピンドル油、マシン油の使用は避けてください。
2. 給油する場合は給油口の給油プラグを六角棒スパナで外し、ボウルの8分目まで給油してください。

☀ LN650, LN900は圧縮空気が供給されている状態でも給油できますが、LN651, LN901, LN902は圧縮空気が供給されている状態での給油はできません。

## 油量調節

ルブリケータのダイヤルを左に回すと油量が増します。本体の調節マークとダイヤルの数字を目安にして調節してください。

- ☀
1. 右方向には連続して回転しますが、油量はそれぞれの数字で変わりません。
  2. ダイヤルの数字は油量の目安であり、滴下数量ではありません。